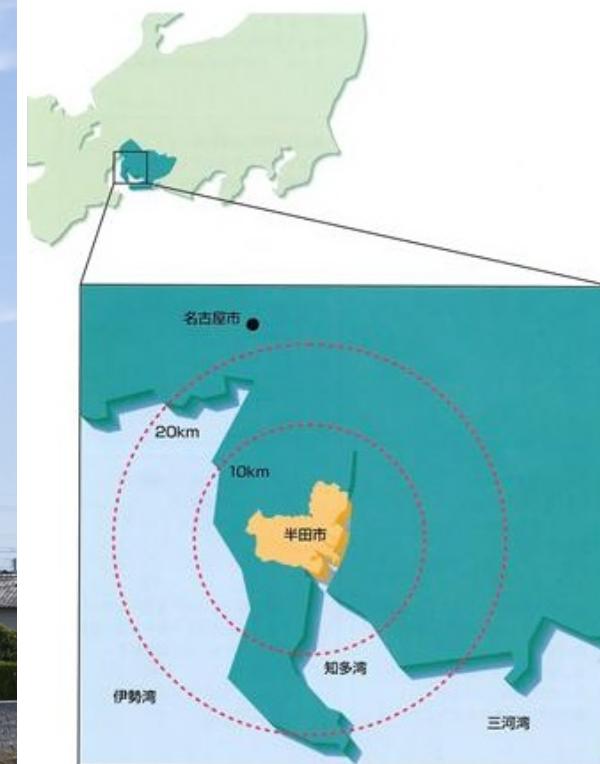




半田運河と蔵 (愛知県半田市)



【いい川情報(私のまちのいい川自慢、見どころ 等)】

半田運河の原形は元禄年間(1600年代)の排水工事に遡り、早くから開けた海運によって、江戸や大阪に酒や酢などの産物を運んでいました。今でも、界隈には黒板塀の醸造蔵が立ち並び、この工場群は平成21年2月に経済産業省の近代化産業遺産に認定されました。また、周辺にはここで造られる酢の香りが漂い、環境省の「かおり風景100選」に選ばれています。

【応募理由】

付近は半田市の主要な観光エリアであり、景観形成重点地区にもなっており、観光客などが散策する姿が見られます。また、本年7月には地元有志で結成される「運河を守る会」主催による「いかだレース」が開催されるなど、地域に愛されるスポットとなっています。中部地方では希少な運河を有するまち並みのPRにより誘客増を狙うとともに、地元の方々の愛着深化を図ることが応募の理由です。

【撮影者、撮影場所、時期、時間 等】

半田市撮影
愛知県半田市
平成21年6月

【問い合わせ先】

半田市市民経済部商工観光課 観光担当
電話:0569-84-0634(直通)